

保証書		持込修理
D&S DESIGN AND STYLE		
ミニボトルブレンダー		
品番	DS.7673 / DS.7680	
お客様	お名前	様
	〒.....	
お買上げ日	年 月 日	
保証期間	お買上げ日より1年間	
お買い上げ販売店名印		
〈本製品に関するお問い合わせは〉 日本洋食器株式会社 〒959-0214 新潟県燕市吉田法花堂1949 TEL : 0256(92)3145 http://www.nihon-yoshokki.co.jp/		

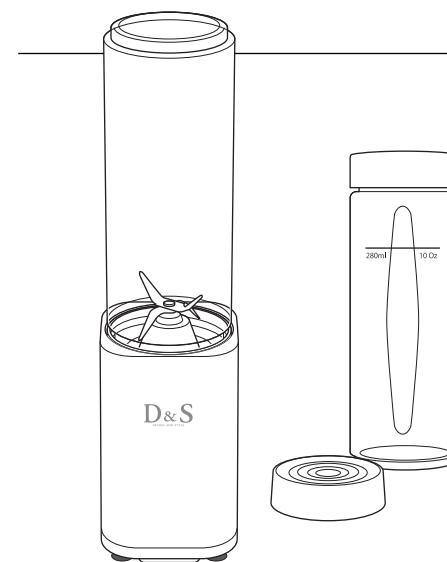
本書はお買上げ日より、上記期間内において正常な使用状態で故障が発生した場合には、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は、下記をご参照ください。

- 保証期間中、取り扱いについての説明書等の注意に従った正常な使用状態で故障した場合は、当社、又はお買上げ販売店に修理をご依頼のうえ、本書をご提示ください。お買上げの販売店が無料修理をいたします。
- 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、当社、又はお買上げ販売店へ直接お問い合わせください。
- 次のような場合には、保証期間中でも有料修理になります。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買上げ年月日、お客様名、お買上げ販売店名の記載がない場合あるいは字句を書き替えられた場合。
 - ご使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - お買上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
 - 火災、地震、風水害、雷、その他天災地変、塩害、公害や異常電圧による故障及び損傷。
 - 本製品以外の他の機器によって生じた故障及び損傷。
- 下記の部品は消耗品です。保証期間内でも有料になります。
(ボトル・ボトル台・保存ふた)
- 本機は持込修理の対象商品ですので、保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料はお客様の負担となります。
- この保証書は、本書に明示した期間の、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上げの販売店又は当社に直接お問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

お客様へのお願い

- 本書にお買上げ年月日、お客様名、お買上げ販売店名が記載されているかお確かめください。万一記入がない場合は、直ちにお買上げの販売店にお申し出ください。
- ご贈答等で、本書記載のお買上げ販売店に修理が依頼になれない場合は、当社へ直接お問い合わせください。
- ご転居の場合は、事前にお買上げの販売店にご相談ください。本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
- 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間にについて詳しくは、当社に直接お問い合わせください。

家庭用



品番:DS.7673 / DS.7680

ミニボトルブレンダー 取扱説明書

目 次

・安全上のご注意	1~2
・使用上のご注意	3
・各部の名称と扱い方	4~5
・使い方	6~9
・モーター保護機能	10
・標準仕様	10
・お手入れの方法	11
・保証とアフターサービス／廃棄するときは	12
・故障かな…	13
・交換用部品の販売	14
・保証書	裏表紙

保証書 付

このたびは「D&S ミニボトルブレンダー」をお買上げいただき、誠にありがとうございます。製品の機能を十分に生かして正しくご使用ください。『ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みいただき、お読みいただいた後は必ず保管し、わからないことや不具合が生じたときにお役立てください。』

■品質には万全を期しておりますが、万一不都合な点がございましたら当社へお問い合わせください。

安全上のご注意

必ずお守りください。

※ご使用の前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、危害や損害の大きさと、切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」、「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示
の例



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

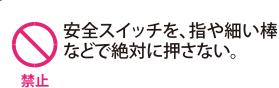


警告



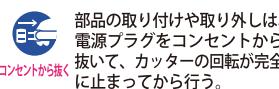
絶対に分解したり、修理・改造したりしない。
分解禁止

※感電・火災・けが・故障のおそれがあります。



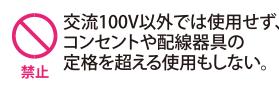
安全スイッチを、指や細い棒などで絶対に押さない。
禁止

※回転部分が回転して、けがのおそれがあります。



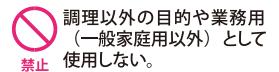
部品の取り付けや取り外しは、電源プラグをコンセントから抜いて、カッターの回転が完全に止まってから行う。
コンセントから抜く

※けが・感電・火災のおそれがあります。



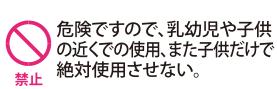
交流100V以外では使用せず、コンセントや配線器具の定格を超える使用もしない。
禁止

※火災・感電のおそれがあります。



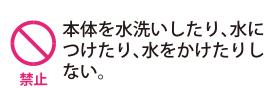
調理以外の目的や業務用(一般家庭用以外)として使用しない。
禁止

※故障のおそれがあります。



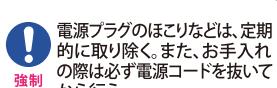
危険ですので、乳幼児や子供の近くでの使用、また子供だけで絶対使用せない。
禁止

※感電・やけど・けがのおそれがあります。



本体を水洗いしたり、水につけたり、水をかけたりしない。
禁止

※感電・けが・破損・故障のおそれがあります。



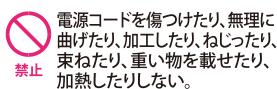
電源プラグのほこりなどは、定期的に取り除く。また、お手入れの際は必ず電源コードを抜いてから行う。
強制

※火災・感電のおそれがあります。



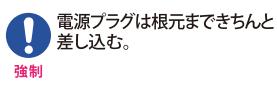
濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない。
禁止

※感電・けが・やけどのおそれがあります。



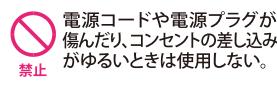
電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工したり、ねじったり、束ねたり、重い物を載せたり、加熱したりしない。
禁止

※感電・ショート・火災のおそれがあります。



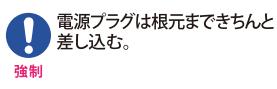
電源プラグは根元まできちんと差し込む。
強制

※火災・感電のおそれがあります。



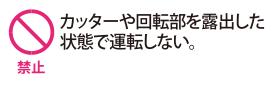
電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差しみがゆるいときは使用しない。
禁止

※感電・ショート・火災のおそれがあります。



カッターや回転部を露出した状態で運転しない。
禁止

※けがのおそれがあります。



カッターには、直接手を触れない。
禁止

※鋭利な刃物なので、けがのおそれがあります。



警告

異常・故障時には、直ちに使用を中止する

そのまま使用すると発煙・発火・感電・けがの原因になります。



必ず実施

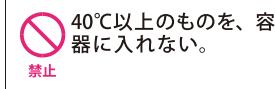
<異常・故障例>

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる
 - ・電源コードに深い傷や変形がある
 - ・焦げくさいにおいがする
 - ・製品の一部に割れ・がたつき・緩みがある
 - ・電源コードを動かすと、通電したりしなかつたりする
 - ・ビリビリと電気を感じる
 - ・ボトルにひび割れなどができた。
- など

このような場合には、すぐに電源プラグを抜いて、当社(裏表紙)または販売店に必ず点検・修理を依頼する



注意



40°C以上のものを、容器に入れない。
禁止

※やけど・けが・変形・故障のおそれがあります。



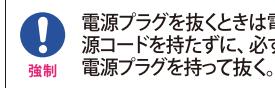
屋外や火気の近くで使用しない。
禁止

※故障・火災・変形のおそれがあります。



不安定な場所やビニールや合成繊維など、熱に弱いものの近くでは使用しない。
禁止

※火災・けがのおそれがあります。



電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って抜く。
強制

※感電・ショート・火災のおそれがあります。



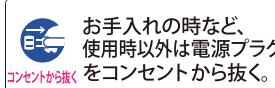
運転中は移動させない。
禁止

※けがのおそれがあります。



電子レンジ・オーブンレンジなどで使用しない。
禁止

※火災・故障・変形のおそれがあります。



お手入れの時など、使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く。

※絶縁劣化による感電・漏電火災のおそれがあります。



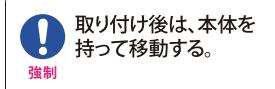
食器洗浄機・食器乾燥機などで使用しない。
禁止

※故障・変形のおそれがあります。



取り付け時にボトル台と本体の間に異物をはさまない。
禁止

※けが・感電・火災のおそれがあります。



取り付け後は、本体を持って移動する。
強制

※けが・破損・故障のおそれがあります。



タコ足配線はしない。
禁止

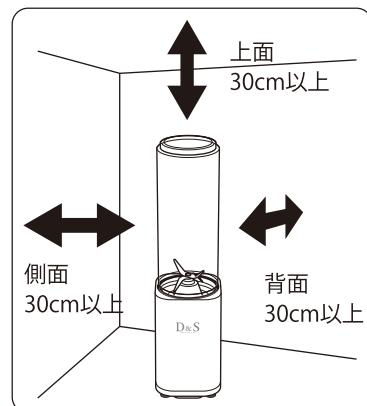
※火災のおそれがあります。

使用上のご注意

 <p>落としたり強い衝撃を与えた りしない。 禁止</p> <p>※故障・破損のおそれがあります。</p>	 <p>連続運転は定格時間以内 にする。 強制 定格時間：1分</p> <p>※故障のおそれがあります。</p>	 <p>冷凍食品・ドライアイスを 入れて運転しない。 禁止</p> <p>※破損・けが・故障のおそれがあります。</p>
 <p>空運転はしない。 禁止</p> <p>※故障のおそれがあります。</p>	 <p>金属製のスプーンや へらなどは使わない。 禁止</p> <p>※故障・破損のおそれがあります。</p>	 <p>モーター保護機能が 作動した場合、そのままの 状態で使用を再開しない (10ページ参照)。 禁止</p> <p>※故障・破損のおそれがあります。</p>
 <p>調理できない食材を 入れない。 禁止</p> <p>※故障・破損のおそれがあります。 (6ページ参照)</p>	 <p>最大目盛を超える食材を 入れない。 禁止</p> <p>※故障・破損のおそれがあります。 (4ページ参照)</p>	 <p>ボトルを冷凍庫に 入れない。 禁止</p> <p>※破損・けがのおそれがあります。</p>
 <p>氷のみでの運転(かき氷 など)はしない。 禁止</p> <p>※カッターが破損し、故障のおそれ があります。</p>	 <p>大きな氷や、市販の氷 (ロックアイス)などを 使わない。 禁止</p> <p>※カッターが破損し、故障のおそれ があります。</p>	 <p>人工大理石の上には 置かない。 禁止</p> <p>※変色のおそれがあります。</p>

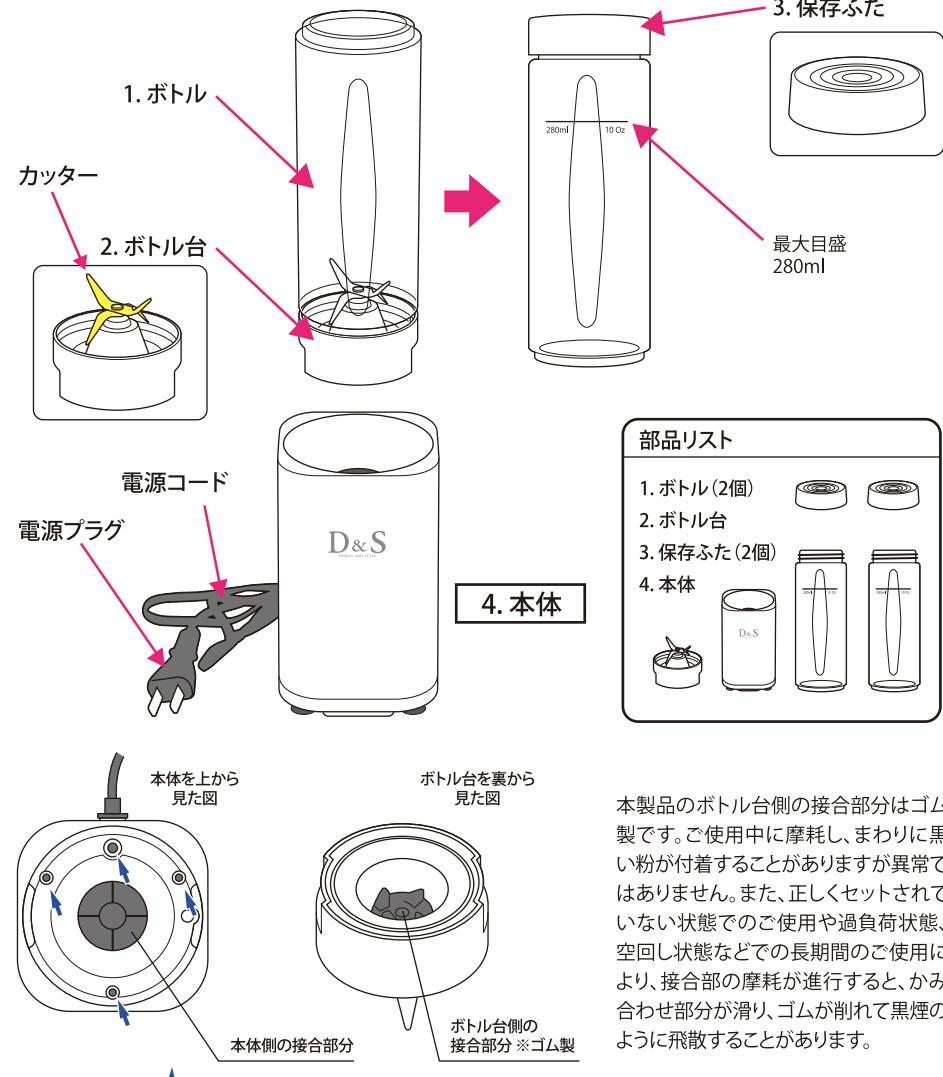
使用場所について

本体は、左図の様に距離を空け、安定した場所に設置してください。コンロなど火気の近く・燃えやすいものの近く・水のかかる場所には絶対に設置しないでください。



各部の名称と扱い方

※付属している専用部品
以外は使用しない。



部品リスト

1. ボトル(2個)



2. ボトル台



3. 保存ふた(2個)



4. 本体



本製品のボトル台側の接合部分はゴム製です。ご使用中に摩耗し、まわりに黒い粉が付着することがありますが異常ではありません。また、正しくセットされていない状態でのご使用や過負荷状態、空回し状態などの長期間のご使用により、接合部の摩耗が進行すると、かみ合わせ部分が滑り、ゴムが削れて黒煙のように飛散することがあります。

安全スイッチを押さない。
回転部が回転し、けがのおそれ。

各部品が正しくセットされていない
場合、電源スイッチが作動しない
安全装置です。

使い方

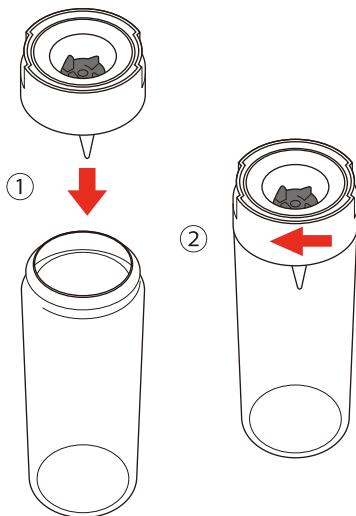
ボトル台の取り付け/取り外し

取り付ける時は、ボトルの投入口を上にして押さえながら、

①ボトル台をボトルにはめる。

②ボトル台を矢印の方向(時計回り)にしっかりと回して取り付けます。

※取り外す時は、ボトル台を矢印と逆の方向(反時計回り)に回します。

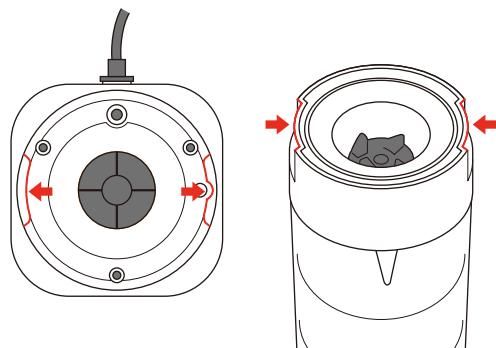


ボトル・ボトル台の本体への取り付け

ボトル・ボトル台の本体への取り付けは、本体を押さえながら、

①本体接合部内側の『凸部』とボトル台の『凹部』を合わせるようにボトル・ボトル台を本体に入れる。

※取り付けが不完全だと電源が入りません。



注意

●はじめてお使いになるときは、『お手入れの方法』(11ページ)を参考にして、本体以外の各部品を洗ってからご使用ください。

●製品の定格時間(連続使用可能時間)は、1分です。1分間連続して運転した場合、繰り返しての使用はモーターが冷めてからご使用ください。

●最大目盛(280ml)までの範囲でご使用ください。

●本製品は食材をカッターで粉碎し混ぜ合わせるものです。食材に水分が少ないとボトル内でうまく回転しません。その場合は水や牛乳などの水分(液体)を加えてご使用ください。

●下記の食材は調理しないでください。

◆かたいもの(乾燥大豆、乾物、穀類、冷凍食品、ドライフルーツ、しょうが、ウコンなど)
※果物が冷凍の場合は解凍してから使用してください。

◆肉、魚類

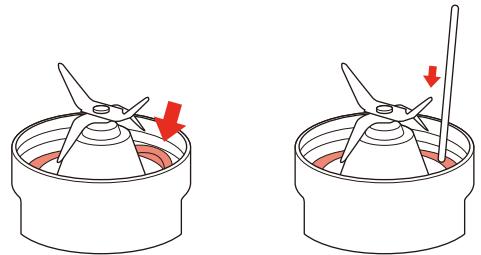
◆粘り気の強いもの、水分の少ないもの(とろろいも、ゆでたじがいも、こんにゃくなど)
※バナナは必ず牛乳などの液体を入れて使用してください。

●ドライアイスは入れないでください。

■お使いになる前に

ボトル台のパッキンにすき間や緩みがある場合は、細い棒状のものなどを使用し、しっかりと溝にはめこむ。

※パッキンを傷つけるおそれがあるものは使用しないでください。



1. 食材を準備する。

食材を入れる順番

①角氷(必要な場合)

②水分の少ない食材

(リンゴ・にんじん・バナナ等)

③葉物野菜

④水分の多い食材

(柑橘類等)

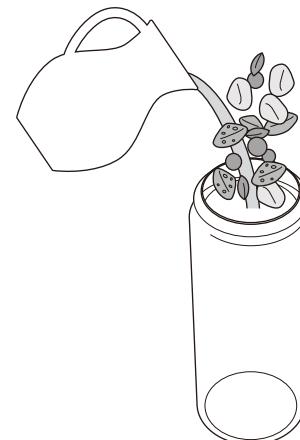
⑤液体

※食材は全て2cm以下の大さに切る。

※必ず氷や水分の少ない食材を先に入れる。

カッターが引っかかり回転しません。

※必ず水や牛乳などの液体を加えてください。



2. ボトルに食材を入れ、ボトル台を取り付ける。



注意

■空運転をしない。

(破損・故障の原因)

■熱い食材を入れない。

(破損・故障の原因)

※必ず食材を常温に冷ましてからご使用ください。

■ボトルに定格容量をこえる食材を入れない。

(ふきこぼれ・故障の原因)

■禁止食材を入れない。

(破損・故障の原因)

※食材が大きすぎるとカッターが回転しないことがあります。その場合は
食材を小さく切って再度運転してください。

■パッキンの付け忘れ、装着時のねじれ・よごれ等に注意する。

■水漏れに注意する。

※強めの力でしっかりと最後まで締め、水漏れがないことを確認してから使用してください。

3. 本体を平らな台の上に置き、 ゴム足の吸盤をしっかりと吸着させる。

4. ボトルを逆さにし、凹凸を 合わせて本体にセットする。

※傾きが無いように確実にセットする。

※ボトルにボトル台をしっかりと取り付けないと、
ボトルを逆さにした際に食材(液体)が漏れる可能性が
ありますのでご注意ください。

5. 電源プラグをコンセントに しっかりと差し込む。



6. ボトルを押させて運転(かくはん) する。

■パルス運転：ボトルを本体に向かって垂直に約1秒間押す。

■連続運転：ボトルを本体に向かって垂直に押し続ける。



注意

■長時間の連続運転をしない。

(故障の原因)連続運転は1分以内

■運転中は本体を持ち上げない。

(故障の原因)

※必ずゴム足の吸盤を台に吸着させた状態でご使用ください。

■回転中にボトル・ボトル台を本体から外したり再度本体にセット
したりしない。

(部品の破損・故障の原因)

■ボトルはつかまずに手のひらで押す。

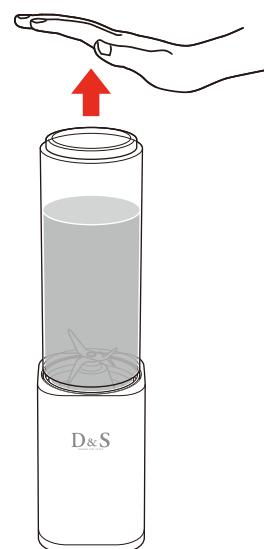
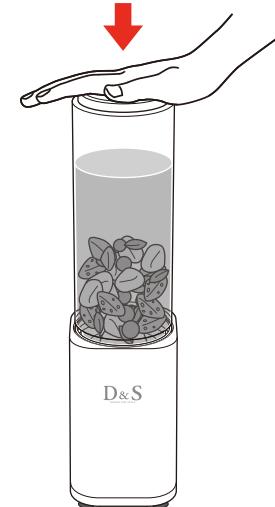
(破損の原因)

※はじめにパルス運転を数回行い、食材を粉碎することでかくはん
しやすくなります。

※カッターが空回りしている時は、ボトルを軽く振るなどして、食材を
下へ落としてください。



7. 運転(かくはん)を止める。ボトルを 押さえている手をはなす。



8. ボトル・ボトル台を逆さにしてから、ボトルからボトル台を取り外す。

⚠ 注意

■カッターの回転が完全に止まってからボトル・

ボトル台を本体から外す。

(故障の原因)

※カッターは、運転を止めた後も慣性で回転する
ので、完全に停止を確認してからボトル・
ボトル台を外してください。

■カッターは鋭利なため、直接手で触れない。

(けがの原因)

■取り外したボトル台は容易に手に触れるところに
置かない。

(けがの原因)

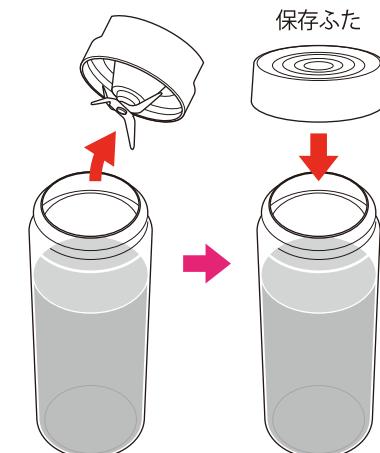
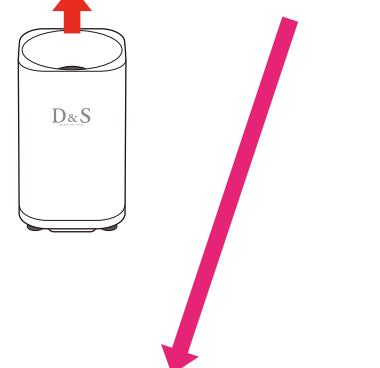
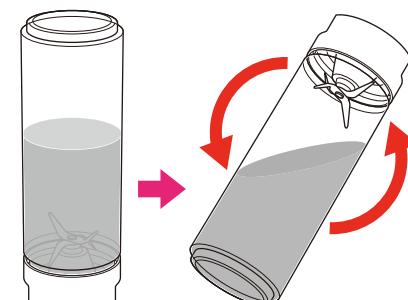
■使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜く。

※調理物が取り出しがにくいときは、ヘラなどを使って
取り出してください。

※カッターが付いた状態で調理物を保存しないで
ください。

●保存・持ち運びの際は保存ふたをつけてから

ボトルを持って運んでください。



モーター保護機能

定格時間を超えた連続使用や、食材が多い状態での運転によりモーターが過熱した場合、モーター保護のために自動的に電源を遮断して運転を停止します。この場合は、電源プラグを抜いてから涼しい場所に1時間程度放置してモーターを冷却してください。

標準仕様

種類	ミキサー
電源	AC100V 50-60Hz
消費電力	150W
定格時間	1分
定格容量	280ml
外形寸法	本体(ボトルセット時)：約68(W)×68(D※電源コード含まず)×260(H)mm ボトル(保存ふた使用時)：約Ø60×170(H)mm
製品重量	本体：約407g、ボトル台：約52g、ボトル：約57g、保存ふた：約17g
電源コードの長さ	約80cm
原産国	中国

※ボトル、保存ふたは2個付属します。

お手入れの方法



注意

- お手入れは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、カッターの回転が完全に止まり、本体が冷えてから行ってください。
- 洗剤は食器用洗剤をお使いください。
シンナー・ベンジン・スプレー式クリーナー・みがき粉・クレンザー・漂白剤などは使用しないでください。
- 食器洗浄機、食器乾燥機などは使用しないでください。
- カッターには直接手を触れないでください。
- ボトル台は浸け置き洗いしないでください。
- 本体に直接水をかけたり、丸洗いはしないでください。
- 金属たわしや硬いたわしなどは使用しないでください。
- ご使用後は、すぐにお手入れをしてください。
- 食材の色が付着することがありますが、ご使用には問題ありませんので、安心してご使用ください。

■本体

- 汚れは乾いたやわらかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、ぬるま湯で薄めた食器用洗剤をやわらかい布に浸してよくしぼってふき、その後乾いた布でふきとってください。

■ボトル台

- カッターは鋭利で危険です。直接手を触れずに柄のついたブラシ等に食器用洗剤をつけて洗い、よくすいでから、十分に乾かしてください。
- 汚れがひどい場合は、ボトルにぬるま湯を1/3程度入れ、食器用洗剤を少量加えて数秒間運転させます。その後、本体から取り外して十分に水洗いし、水気をよくふきとて乾かしてください。

■ボトル・保存ふた

- 食器用洗剤を入れたぬるま湯に浸してからスポンジを使って洗ってください。
よくすいでから乾かしてください。
※ボトルの内側は、柄のついたスポンジで洗うことをおすすめします。
- ※パッキン類は、にんじん・葉菜類からの色移りが、洗っても取れにくい場合がありますが、ご使用には問題ありませんので、安心してご使用ください。

■保管について

- けがを防ぐためボトル台はボトルに取り付けてください。
- パッキンのにおい移りを防ぐため、保存ふたは、取り付けないでください。
- 直射日光の当たらない通気性の良い場所で保管してください。
- 大理石のテーブルなどの上に長時間置いておくと、ゴム足の跡が残る可能性がございますので、ご注意ください。

保証とアフターサービス

持込修理

1 この製品には、本書の裏表紙に保証書がついています。

お買い上げ販売店での所定事項の記入をご確認いただき、保証内容をよくお読みになって大切に保管してください。所定事項の記入がないと保証は有効となりませんので、そのときはお買い上げの販売店へ記入をお申し付けください。

2 保証期間中に修理を依頼されるとき

この取扱説明書をよくお読みいただき、異常がある場合はお買い上げの販売店に保証書をご提示の上、修理を依頼してください。保証書の規定により無償で修理、または製品の交換をさせていただきます。

3 保証期間後に修理を依頼されるとき

お買い上げの販売店にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理いたします。

4 補修用性能部品について

当社ではこの製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打切後、最低6年間保有しております。

※お客様ご自身で修理や改造することは危険ですので、絶対におやめください。

5 本製品使用中、万一不具合により調理を行うことができなかつた場合

そのことによる損失の補償、または使えなかったことによる付随的損害の補償については、その責任を負いかねますのでご容赦ください。

●個人情報のお取り扱いについて

お客様のお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き第三者への開示は行いません。なお、お客様がお電話でご相談、ご連絡をいただいた場合には、お客様のお申し出を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

〈利用目的〉お客様がご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談、お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。

〈業務委託の場合〉上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な監理・監督をいたします。

廃棄するときは

- 製品や梱包材などは、お住まいの地域によって異なりますので、各自治体にご確認の上、処分願います。

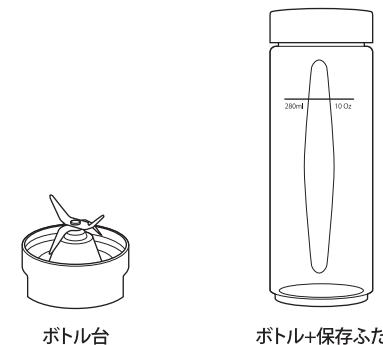
故障かな…

修理・サービスをお申しつけになる
前に下記の点をお調べください。

こんなときは	調べるところ	処置
運転しない。	電源プラグが抜けていませんか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	ボトル・ボトル台が本体に確実にセットされていますか？	ボトル・ボトル台を本体に正しくセットしてください。
	モーターの保護機能がはたらいていませんか？	『モーター保護機能について』(10ページ)に従って処置してください。
振動や動作音が大きい。	食材が大き過ぎませんか？	食材を小さくしてください。
	食材が多過ぎませんか？	食材を減らしてください。
食材・調理物がもれる。	ボトル台の取り付けが緩んでいませんか？	ボトルにボトル台をしっかりと取り付けてください。
	保存ふたをしっかりと閉めていますか？	保存ふたをしっかりと閉めてください。
	食材を入れすぎていませんか？	食材を減らしてください。
	パッキンが緩んでいませんか？	ボトル台・保存ふたのパッキンをしっかりと取り付けてください。
回転が止まる、または遅くなる。 ↓ 運転を止め、電源プラグをコンセントから抜いてください。	食材が大きすぎませんか？	小さく切りなおしてください。
	ボトルが本体に正しくセットされていますか？	正しくセットしなおしてください。
	カッターとボトルの間に食材がはさまっていないませんか？	食材を取り除いてください。
	ボトル台と本体の接合部がすり減っていますか？	当社まで(14ページ)お問い合わせください。
保護装置が働いて回転が止まる。 ↓ 運転を止め、電源プラグをコンセントから抜いて1時間放置してください。	食材を入れすぎていませんか？	食材を減らしてください。
	負荷がかかりすぎていませんか？	粘り気の強いもの・水分の少ないもの・かたいものなど、禁止食材はボトル台の破損やモーター故障の原因になりますのでおやめください。
	食材が大きすぎて、カッターをロックしていませんか？	ロックしている食材を取り除いてください。
においがする。	長時間の使用。 過負荷での使用。	においや煙のようなものを感じることがあります。これはモーターコイル巻線の補強材(ワニス)がモーター自身の発熱により蒸発したため故障ではありません。

交換用部品の販売

お客様に長くお使いいただけるよう、交換用部品の販売を承っております。



部品名	価格	送料
ボトル台	¥1,000+税	¥520
ボトル+保存ふた	¥800+税	¥520

<部品購入までの流れ>

- メール・TEL・FAX いずれかにてご希望の部品名をご連絡ください。
- 当社より部品の在庫状況、および費用詳細ををご連絡申し上げます。
- 先に合計金額を下記の振込先へお支払いをお願いいたします。
- ご入金が確認でき次第、ご指定場所(日本国内のみ)へ発送いたします。

※ 部品の発送は、通常ご注文頂いてから2~3日で発送となります。
(在庫が無い場合は別途ご連絡を入れさせていただきます)

●部品代のお支払い(銀行振り込み)について
振込先: 第四北越銀行 燕(つばめ)支店 当座 No.106516
名義: 日本洋食器株式会社
※ お振込み手数料はお客様でご負担ください。

日本洋食器株式会社

〒959-0214 新潟県燕市吉田法花堂 1949 番地 TEL 0256(92)3145 • FAX 0256(92)3240
<http://www.nihon-yoshokki.co.jp/>